

部課名		生涯学習部生涯学習総務課												
使命		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習部の総務担当課として、事務事業の執行計画の調整・進管理、連絡調整等を行い、組織が適切に運営できるようにします。 町田市固有の文化財・歴史資料の保護・維持・管理に努め、市民がそれらに触れられる機会・場所の提供及び情報を発信することにより、市民が郷土への理解と愛着を深められるようにします。 												
実行計画(年度目標)														
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応	
1	国指定史跡の整備	重点 事業プ ラン	国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡の整備工事を実施します。	高ヶ坂遺跡整備工事進捗率	80% 65% (2019年3月) ※国庫補助の交付決定額に基づき事業計画を変更しました。	○	<ul style="list-style-type: none"> 用地買収については、9月の公共財産評価等審査会に付議しました。 整備工事に向けて建築基準法に基づく手続き(計画通知取得)を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 審査会の決定を受け、契約・登記の手続きを進めます。 八幡平遺跡の四阿建築を含む整備工事を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 用地買収については、12月に移転登記を完了しました。 入札不調により、整備工事の一部実施を2019年度に延期しました。 町田デジタルミュージアム導入の準備を進めました。 	60%	C	一部の工事ができなかったものの、考古、歴史、民俗資料の一体的な保存・活用方法を検討することができました。	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事を円滑に実施できるよう2019年度早々に手続きを進めます。 文化財について、より効果的な情報発信を進めます。 	
2	生涯学習施設のあり方の検討	行政 経営 改革プ ラン	生涯学習施設(図書館・文学館)の役割やサービス水準を検証し、施設の再編などの見直し方針を作成します。	見直し方針の作成	作成完了	○	<ul style="list-style-type: none"> 鶴川地域図書館のこれからを考える市民ワークショップを2回開催しました。 文学館の検討内容を整理し、生涯学習審議会へ今後のあり方について諮問しました。また、近隣類似施設との連携について、他部課を含めた検討を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館のあり方について、生涯学習審議会に諮問した上で、見直しの方向性を決定します。 文学館に対する生涯学習審議会の答申を基に、見直し方針を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館では、鶴川地域において実施した市民ワークショップや地元商店会・自治会等との懇談を通じて、市民ニーズを把握しました。 図書館及び文学館のあり方について、生涯学習審議会に諮問し、答申を受けました。 答申に基づき、2月に図書館及び文学館のあり方の見直し方針を決定し、3月に公表しました。 	作成完了	C	図書館及び文学館の見直しの方向性を明確にすることができました。	<ul style="list-style-type: none"> 図書館及び文学館のあり方見直し方針に基づき、それぞれの事業見直しや管理運営手法の詳細な検討を進めます。 	

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	自由民権資料館の魅 力の向上	未来 づくり プロ ジェク ト	・市民の学習を支援する新たな講 座や魅力あるイベント等について 検討・実施し、集客に努めます。 ・市民が興味を持てる企画展示や 講演会等のイベントを提供します。	・利用者数 ・講座等開催 数	・7,000人 ・133回	○	・企画展「蔵出し絵 草紙」(来館者数 1,124人)と特別展 『『五日市憲法草 案』と多摩の自由 民権』を(来館者数 1,046人)開催しま した。総利用者数 は3,434人です。 ・特別講座「町田 の近代史part2」や 展示関連講演会、 展示解説等を延べ 80回実施しまし た。	特別展「幕末・維 新期の町田」を開 催します。展示関 連講演会や展示 解説のほか、資料 館まつりや歴史講 座を開催します。	・特別展「幕末・維新期 の町田」をはじめとした 企画展示を3回開催し ました。年間総利用者 数は7,300人となりまし た。 ・資料館まつりや歴史 講座(自由民権カレシ ジ・古文書講座・特別 講座「町田の近代史 II」)、展示関連講演 会、展示解説等を延べ 120回実施しました。	・7,300人 ・120回	B	利用者数につ いては初期目 標を大幅に達 成することが できました。講座 等開催数は展 示解説の件数 が伸びなかっ たため、目標 値には達しま せんでした。	今後も展示内 容の充実を図 るとともにPR方 法を工夫して 事業を実施し ていきます。
4	教育プランの策定	個別 計画	部内作業部会を中心に施策及び 事業等の検討を行い、教育プラン を策定します。	教育プランの 策定	策定完了	○	生涯学習に関する 施策、施策の成果 をはかる指標及び 事業について検 討・整理を行いま した。	・2018年10月にパ ブリックコメントを 実施します。 ・パブリックコメント の結果や教育委 員会に設置する策 定検討委員会での 検討を踏まえ、教 育プランを策定し、 2019年3月に公表 します。	部内作業部会や教育 委員会に設置する策 定検討委員会での検 討並びにパブリックコ メント結果等を踏まえ、 「町田市教育プラン 2019-2023」を2019年2 月に策定しました。	策定完了	C	年度当初の予 定どおりに策 定が完了しま した。	計画に基づ き、生涯学習 に関する施策 を着実に推進 していく必要が あります。
5	文化財の更なる魅力 発信	個別 計画	考古資料を用いて、アウトリーチイ ベントを実施します。	考古資料アウト リーチイベン ト実施件数	8件	○	考古資料を用いた アウトリーチイベン トを7件実施し、延 べ2,571人の参加 者がありました。	11月実施予定の 文化財ウィークを 始め、今後も積極 的にアウトリーチイ ベントを展開しま す。	年間9件のアウトリーチ イベントを実施し、延べ 6,170人の参加者があ りました。	9件	B	覆屋工事が完 了した牢場遺 跡の見学会を 複数回実施し たため、目標 値を上回しま した。	実施手法を工 夫し、より広い 参加者層を開 拓できるよう努 めます。
6	自由民権資料館の史料 整理・研究の促進	個別 計画	・自由民権資料館の史料の整理を 行いながら収蔵庫を中心に史料保 管場所の有効活用について再検 討します。	方針に基づく 実施準備作業	準備作業完了	○	史料整理を行いな がら、史料保管環 境整備方針に基 づき、書籍の管理 データの更新作業 を進め、約80%完 了しました。	引き続き、史料整 理を進めながら、 管理データの更新 作業を完了させ、 保管場所への移 動を行います。	新たに収集した史料を 加え、約8500点の史料 整理を行いました。ま た、書籍の管理デー タの更新作業を完成さ せ、史料保管場所の 移動を開始しました。	準備作業 完了	C	書籍管理デー タが完成した ことにより、史料 保管環境の整 備に着手する ことができました。	引続き史料整 理を継続しな がら、史料保 管場所の有効 活用について 検討・実施し ていきます。
7	業務マニュアルの整備	—	・整備対象の業務について、マ ニュアルの作成を行います。	マニュアルの 整備率	100%	○	35業務中20業務 (57%)でマニユ アルを作成しまし た。	引き続き、計画的 にマニュアルの整 備を進めます。	35業務中35業務 (100%)でマニユ アルを作成し、業務マニユ アルの整備が完了しま した。	100%	C	年度当初の予 定どおりに整 備が完了しま した。	マニュアルに 沿って業務を 行いながら、必 要に応じてマ ニュアルの検 証・改善を行っ ていく必要が あります。

部課名		生涯学習部生涯学習センター												
使命		市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支え合うことができるよう支援します。												
実行計画(年度目標)														
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応	
1	現行計画の総括と次期計画の策定	個別 計画	生涯学習推進計画(2014年度～2018年度)に基づく各事業の総括を行い、次期生涯学習推進計画(2019年度～2023年度)を策定します。	生涯学習推進 計画の改定	生涯学習推進計 画の改定	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画について、2017年度実績のとりまとめの作業を完了しました。 ・次期計画について、策定スケジュールの見直し後、計画原案の作成に着手しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画について、10月に2018年度実績(見込み値含む)のとりまとめに着手します。 ・次期計画策定に向けて、概ね1月上旬に作業を完了し、3月の公表に向けて庁内手続きに移行します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画について、2017年度及び2018年度実績(見込み値含む)のとりまとめの作業を完了しました。 ・現計画の振り返りを踏まえ、次期計画となる「町田生涯学習推進計画(2019-2023)」の策定を完了し、3月に公表しました。 	改定	C	「町田生涯学習推進計画(2019-2023)」の策定作業を、概ねスケジュールどおりに進めることができました。	「町田生涯学習推進計画(2019-2023)」に基づき、目標達成に向けて、進捗管理を行いながら進めます。	
2	地域づくり型講座の実施	個別 計画	地区協議会や市民団体と連携・協力して、地域課題の解決のための地域づくり型講座を各地域で実施します。また、新たな地区協議会との連携を検討します。	地域づくり型 講座の実施件 数	10講座	○	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区協議会と連携した講座「3水スマイルラウンジ」を、9月までに4講座実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「3水スマイルラウンジ」を5講座実施する予定です。 ・鶴川地区協議会との共催で「バーベキューではじめる地域づくり講座」を実施します。 ・相原地区で講座の実施を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区協議会と連携した講座「3水スマイルラウンジ」の講座を実施しました。(8講座) ・鶴川地区協議会との共催講座「鶴川地区・岡上地区交流会」を3回連続講座として実施しました。(1講座) ・相原地区では講演会「相原地区の魅力再発見！」を、歴史と自然に関するテーマで2回実施しました。(1講座) 	10講座	C	生涯学習センターが、中心市街地に1館のみのため、他の場所での講座実施が求められています。既に実施している鶴川地区以外でも、地区協議会との連携のきっかけとなる講演会を実施することができました。	市内には地区協議会が10団体あります。これらの団体と連携を図り、事業を地域で実施する回数を増やします。	
3	さがまちコンソーシアムと連携した地域学習の支援	個別 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な学習ニーズに対応するため、さがまちカレッジ講座を生涯学習センター以外の各地域で開催します。 ・学生団体と地域の学び合いを目指し、学生団体が地域活性化案を提案するさがまちコンソーシアム主催「地域魅力づくりコンテスト」について、さがまちコンソーシアム、庁内関係部署、地域団体と次期候補地の検討を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さがまちカレッジの地域開催 ・候補地の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・さがまちカレッジの地域開催 ・候補地の選定 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・6月になるせ駅前市民センターでさがまちカレッジ講座を実施しました。 ・子どもセンター(ただON、ばあん、まあち、ばお)での共催講座の準備を進めています。 ・学生団体が町田の魅力を紹介する、ツーリズムプランコンテストの実施に向けて参加学生チームのフィールドワークを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に子どもセンターただON、1月に子どもセンターばあん、3月に子どもセンターまあちとばおで、共催講座を実施する予定です。 ・10月7日にツーリズムプランコンテストの実施に向けて参加学生チームのフィールドワークを行い、10月7日にツーリズムプランコンテストを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開催 ・町田薬師池公園四季彩の杜を選定 	B	さがまちカレッジを各地域で開催して利便性を向上し、子どもを対象とした学びの機会を拡げることができました。学生の視点を活かして、町田の新たな魅力を提案する、ツーリズムプランの候補地を選定しました。新聞にも掲載され、魅力向上に向けたPRを図ることができました。	さがまちカレッジの地域開催を継続して取り組むとともに、開催地域の拡大を検討する必要があります。ツーリズムプランの実現化に向けて、庁内関係部署等と調整する必要があります。		

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	生涯学習センターPR チラシの作成	個別 計画	生涯学習センターが地域団体と連携して地域における地域課題解決のための学習を支援していくために、生涯学習センターの事業内容をわかりやすく紹介し、PRするチラシを作成します。	チラシ作成	チラシ作成	○	さがまちコンソーシアムから受け入れをしたインターンシップの取組の一環として、学生と一緒にチラシの原案を作成しました。	原案を参考に、課内で検討してチラシを完成し、庁内の各施設で配布します。	さがまちコンソーシアムと連携したインターンシップ受け入れの取組の一環として、学生と共に作成した原案をもとに、PRチラシを作成しました。作成したチラシを市民センターをはじめ庁内各施設に配布し、生涯学習センターの利用拡大に向けて、周知、PRを行いました。	チラシ作成	C	さまざまな世代による生涯学習センターの利用に向けて、学生のアイディアを取り入れたPRチラシを作成し、活用しました。	一時的にチラシを配布するだけでなく、地域開催講座で配布するなど、チラシを活用した生涯学習センターのPR方法を検討する必要があります。
5	障がいを持つ人に生涯学習情報を提供するための内部研修実施	個別 計画	多様な障がい者等への情報提供に関する内部研修の実施。	研修会の実施	実施	○	9月に医師を招き課内職員を対象として「ユニバーサルデザインを考える～色覚障がいの視点から～」と題した研修を実施しました。	研修で学習した内容を、効果的な情報の伝達に活用します。	9月に医師を招き、課内職員を対象に「ユニバーサルデザインを考える～色覚障がいの視点から～」と題した研修を実施しました。	実施	C	色覚障がいについて知識を得ることができ、ポスターやチラシの作成に活用しました。	色覚障がいだけでなく、他の障がいのある人にも、情報を効果的に提供できるように研究を進めます。
6	ひきこもり当事者のための定期的な話し合いの場の提供	個別 計画	ひきこもり当事者・経験者を対象にした話し合いの場(ひき町)、ひきこもり家族や関係者を対象にした講座を定期的実施し継続的な話し合いの場を提供します。	ひき町の定期的実施	定期的実施	○	・ひきこもりを月1回の頻度で9月までに6回実施しました。 ・家族関係者向けの講座の企画をしました。	・引き続き、ひきこもりを毎月実施します。 ・ひきこもり参加者のニーズを踏まえて夜間の開催を試行します。 ・講座を10月から12月の間に実施します。	・ひきこもり当事者・経験者を対象とした話し合いの場(ひき町)を、毎月1回開催しました。これまでは土日・祝日の午後の開催でしたが、後期は祝日の夜に1回、平日の午後に2回開催し、多様なニーズに応えました。また、2019年度からの自主運営への移行に向けた支援を行いました。 ・2017年度の受講者グループが企画運営した講座を、10月から12月にかけて5回連続で実施しました。定員を超える申込みがあり、当事者、家族、関係者が参加して、意見交換が活発に行われていました。	定期的実施	B	・ひきこもりを毎月開催しました。毎回、平均8名程度初めての参加者があり、合計参加者数が、2017年度を上回りました。 ・当事者や家族、関係者向けの連続講座を実施し、参加者から高い満足度を得ました。	ひきこもりは2019年度から当事者による自主運営に移行することになり、施設貸出しの手順や補助金制度など円滑な運営に向けた情報を伝える必要があります。 ひきこもり支援を学ぶ講座を求め声が多く、学習要求にどのように応えられるのか検討する必要があります。

部課名	生涯学習部図書館
使命	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与します。

実行計画(年度目標)

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	業務の効率化	行政 経営 改革 プラン	課内で設置した検討チームを中心に、施設の再編を最優先項目として検討します。加えて運営体制や、サービス内容についての検討を行います。	施設再編実行 計画の策定	「町田市立図書館のあり方の見直し方針」の策定	○	5月13日・25日にワークショップ「鶴川地域図書館のこれから」を開催し、30名の市民からご意見をいただきました。課内・部内での検討と市民意見等を基に「町田市立図書館のあり方の見直し方針」の原案を作成しています。	「町田市立図書館のあり方の見直し方針」を策定します。	課内・部内での検討と市民意見、町田市生涯学習審議会による「今後の町田市の図書館のあり方について(答申)」等を基に、2019年2月に「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定しました。	「町田市立図書館のあり方見直し方針」の策定	C	目標を概ね達成することができました。	2019年度は「町田市立図書館のあり方見直し方針」により、「図書館のめざす姿」を実現するため「効率的・効果的なサービスの方向性」の検討・決定を行います。
2	図書館への集客を図るイベントとPRの実施	個別 計画	図書館をあまり利用してこなかった人に利用してもらうために、世代別のイベントを計画し、実施します。	図書館の新規 登録者数	11,000人	○	7～9月に中高生・大学生を対象に「POPコンテストまちだ2018」を実施しました。7月14日・15日にスポーツ振興課と共催で「子どもの運動教室」「女性の体幹トレーニング教室」を中央図書館で実施しました。NHKと共催で4月28日に「人体」展、7月28日に「縄文」展の関連講演会を実施しました。9月末までの新規登録者数は、5,932人です。サービス提供の広域化(大和市との相互利用)について検討を行い、9月に申し入れを行いました。	POPコンテストの本の推薦者キン・シオタニ氏の展覧会(会場：パリオ町田)の作品を、町田の地域資料と一緒に中央・鶴川駅前図書館で展示する「まちだをもっと知ろう！」コーナーの設置や、エコフェスタでの移動図書館のPR、鶴川地区協議会とハローウィンイベント等の共催、まちだ図書館まつりの開催などを予定しています。引き続き、相互利用について調整を進めます。	7～9月に中高生・大学生を対象に「POPコンテストまちだ2018」を実施し、特に優秀な人を表彰しました。NHKやスポーツ振興課との共催の講演会を実施し盛況でした。各地域図書館では、「本の福袋」や「おみくじ」などバラエティに富んだイベントを行い、図書館利用の促進を目指しました。2019年度中の大和市との相互利用開始を目指し、12月に正式に文書で申し入れを行いました。	約11,000人	C	目標を概ね達成することができました。	イベントに若年層を取り込むため、SNSの更新回数を増やすなど広報の方法を工夫する必要があります。今後も各地域図書館の特色を活かしたイベントを行い、図書館をあまり利用してこなかった人に来館してもらうよう努めます。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	事務処理マニュアルの整備	個別 計画	図書館業務を網羅した事務処理マニュアルの改訂を行います。	改訂	改訂完了	○	事務処理マニュアルの96.4%を改訂しました。	引き続き、事務処理マニュアルの改訂を行います。	事務処理マニュアルの98.8%を改訂しました。	改訂率 98.8%	D	目標値を達成できませんでした。	2019年度前期で事務処理マニュアルの改訂完了に向け、引き続き改訂を行います。
4	家庭・地域支援の推進	個別 計画	地域で活動する住民や団体への支援に関する調査・検討を行います。	家庭・地域への支援に関する調査	調査の実施	○	ここ数年、地域の小学校で読み聞かせを行っている保護者から希望が寄せられていたため、「絵本の読み聞かせ講座（基礎編）」を5月に2回行いました。	5月の講座受講者アンケート等でニーズのあった「絵本の読み聞かせ講座（応用編）」を実施します。	秋に応用編を2回実施し、好評でした。	アンケート調査の実施	C	アンケート結果に応じた講座を実施し、地域の小学校保護者へ支援を行うことができました。	小学校保護者向け講座については、北部地域からの参加が少ないことが見受けられるため、その地域の方も参加しやすい方策を検討します。
5	第三次町田市子ども読書活動推進計画の実施	個別 計画	第三次町田市子ども読書活動推進計画の進捗状況について、第三次町田市子ども読書活動推進計画推進会議で確認・評価します。	第三次町田市子ども読書活動推進計画推進会議の開催回数	2回	○	6月に町田市子ども読書活動推進計画推進会議を開催し、前年度の取組結果報告、情報交換等を行いました。今年度前期の取組としては、指導課と連携し、図書指導員等対象の読書活動推進に関する研修を実施する等、計画の推進に努めました。	2019年2月頃に町田市子ども読書活動推進計画推進会議を開催する予定です。引き続き、学校図書館への支援、図書館まつりの実施等、計画の達成に努めます。	2019年1月の当計画推進会議にて、2018年10月までの各課取組報告、情報交換等を行いました。忠生市民センターの乳幼児健診に合わせた臨時おはなし会の実施、指導課依頼による研修では、要望の多かったブックトーク実習など、他課との連携に努めました。また、読書手帳配布、POPコンテストなど、小学生、中高生の読書活動推進につながる取組を実施しました。第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定にも着手しました。	2回	C	会議を予定通り2回実施し、目標を達成することができました。	第三次町田市子ども読書活動推進計画では各取組に数値目標がありませんでした。第四次計画ではいくつかを重点取組として数値目標を設定することを検討し、2019年度に策定して、引き続き子どもの読書活動の推進に努めます。

部課名		生涯学習部図書館市民文学館担当											
使命		町田市ゆかりの文学者の著作、原稿、愛用品その他の資料及び市民の文学的著作等を収集・保存するとともに文学に関する調査研究をし、その成果を展示や講座・講演会などを通して市民に発信します。文学の普及活動を行い、市民が文学に触れあえる機会をつくります。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	文学館のあり方の見直し	行政 経営 改革 プラン	文学館の存在意義を検討し、存廃を決定します。また、存続の場合は、効率的・効果的な運営手法を検討し、方向性を決定します。	①文学館の存 廃の決定 ②管理運営手 法の方針決定	①存廃の決定 ②方針決定	○	これまで行った調査の分析結果及び検討内容を基礎資料とし、「今後の文学館のあり方見直し」について、生涯学習審議会に諮問しました。	生涯学習審議会での答申を受け、存廃及び管理運営手法の方針を決定します。	2017年度に部内で検討した見直し案について、文学館運営協議会から意見をいただくとともに、生涯学習審議会に諮問し、答申を受けました。その答申内容に基づき、存廃及び管理運営手法の方針を決定しました。	①存続決定 ②方針決定	C	当初の計画通り検討を進め、目標水準を達成しました。	管理運営方針に基づき、効率的効果的な運営手法を具体的に検討していく必要があります。
2	文学の魅力伝える展覧会や講座・講演会の実施	個別 計画	文字・ことばをテーマにした展覧会や町田ゆかりの文学者等、幅広いジャンルを視野に入れた展示を実施します。さらに「文学」に触れ、その魅力を伝えるためにライブステージに応じた講座・講演・ワークショップなどを実施します。	①展覧会観覧者数 ②利用者数(文学館来館者数+イベント参加者数)	①年間25,000人 ②年間67,000人	△	・春展では童謡の企画展を、夏展では昆虫の絵本作家原画展を開催し、観覧者数は13,823人となりました。 ・利用者数は29,620人で、目標の44%です。	・秋は町田で初となるみつはしちかこ展を開催します。冬は二度目の八木義徳展を開催し、それぞれジャンルの違う魅力的な展覧会を実施します。	①文学や文化の魅力を発信する展覧会を実施し全国から多くの来館者があり、秋展の観覧者数は有料展としては最高の9,084人となりました。 ②市民ニーズを意識した各種講座や館外での講演会を実施しました。	①26,900人 ②66,300人	C	展覧会や講座等で幅広いジャンルをとりあげたことにより、新たな来館者を獲得できました。	より多くの方に文学の魅力を伝えるために、多彩な展覧会やイベントの企画が必要です。
3	SNSを利用した効果的な情報発信	—	2017年度に開設したTwitterを活用し、展覧会情報やイベント情報を効果的に発信します。	Twitterのフォロワー数	300件	◎	Twitterを積極的に活用し、展覧会やイベントの情報を発信しています。フォロワー数は361件です。	TwitterフォローをHPやチラシでアピールするとともに、引き続き積極的に情報を発信していきます。	Twitterを積極的に活用し、展覧会やイベントの情報を効果的に発信しました。	450件	B	フォロワー数が現状値の倍以上に増加し、目標値を大きく超えました。	2020年度目標に向け引き続き情報を発信していきます。
4	施設の計画的な維持・管理	—	老朽化による不良箇所が増える中、計画的に施設・設備などの修繕等を実施することにより良好な施設環境を維持します。	定期点検に基づく修繕計画の見直しと修繕等の実施	計画の見直しと修繕の実施	○	老朽化に伴う不良箇所が発見されたため緊急修繕を実施しました。併せて、直近の状況を踏まえて修繕計画を見直しました。	計画していた外壁補修修繕を行います。また、見直した計画に基づいて修繕を実施します。	計画していた外壁補修修繕を行いました。また、見直した計画に基づいて、市民の安全にかかわる箇所を優先的に修繕を行いました。	定期点検等に基づく修繕計画の見直し及び修繕の実施	C	修繕計画に基づいた修繕及び緊急修繕を実施し、計画を実態に合わせて見直しました。	老朽化に伴う不良箇所が多数見受けられるため、修繕計画の随時見直しが必要です。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
5	貴重資料の登録・公開	—	資料整理計画に基づき、貴重図書、貴重雑誌、原稿、色紙、絵画などの整理をすすめ、図書館システムに登録し公開します。	①貴重図書・雑誌の総登録数 ②原稿・色紙・絵画等の総登録数	①23,900点 ②700点	◎	貴重図書・雑誌の総登録数は24,198点、原稿・色紙・絵画等の総登録数は675点です。	引き続き、資料の整理・登録作業をすすめます。	年間を通して、計画的に貴重図書・雑誌の登録、原稿・色紙・絵画等の登録を行いました。	①24,500点 ②750点	B	総登録数が、貴重図書・雑誌は目標値の約1.5倍、原稿・色紙・絵画等は目標値の約1.7倍を達成しました。	2020年度目標に向け引き続き登録をしていきます。